

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-0045
 住 所 東京都中央区築地6-19-20
 氏 名 株式会社ニレイ・ロジスティクス関東 印
 代表取締役社長 小関 孝訓
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ニレイ・ロジスティクス関東			
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区東扇島6-15			
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)			
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業	
	中分類	47	倉庫業	
主たる事業 の内容	低温物流業			
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,443	k l	
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台	
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂	
連絡先	担当部署	担当部署名 (株)ニレイ・ロジスティクスエンジニアリング		
		所在地 神奈川県川崎市川崎区東扇島6-15		
		電話番号	044-280-2024	
		FAX番号	044-280-2032	
		メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成 24年度 ~ 平成 26年度 (報告年度 平成 26年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	当社の地球環境温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しています。 Http://www.nichirei.co.jp/csr/eny/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,310 t-CO ₂ (調) 3,302 t-CO ₂	(実) 3,375 t-CO ₂ (調) 3,366 t-CO ₂	(実) 2,751 t-CO ₂ (調) 2,743 t-CO ₂	(実) 2,104 t-CO ₂ (調) 2,099 t-CO ₂	(実) 3,211 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) -2.0 % (調) -1.9 %	(実) 16.9 % (調) 16.9 %	(実) 36.4 % (調) 36.4 %	(実) 3.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値		0	0		
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	竣工後本格稼働となり、計画より入出庫屯数が前年度比増となった。
第2年度	平成25年7月に同敷地内の別棟（新築）へ移転。建物容積ほぼ同等も別棟の各種設備（特に冷凍設備と照明設備）が省エネ機である事から、前年比減となった。基準年度比では、16.9%減となった。
第3年度	冷凍設備と照明設備が省エネタイプである事と、スケジュール運転による電力削減、及び新事業者への冷蔵保管負荷移管等から前年比減となった。結果として計画期間での温室効果ガスの排出量が基準年度比で、36.4%減となった。 総括：平成25年度に省エネ機の新設設備への移管、新事業者への冷凍負荷移管等によって大幅にエネルギー使用量が減少し1,500KI以下となった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	1. 推進体制の整備。 ・事業所各協力会社を含めた、定期的な取り組み報告を行う。 ・委員会での実施状況確認。 2. 管理マニュアルの作成、研修体制の整備。 3. 主要設備等の管理標準の定期的見直し改善。
	第1年度	1. 推進体制の整備。 ・事業所各協力会社を含めた組織横断的な委員会を設置し、推進体制を整備した。
	第2年度	1. 推進体制の整備 ・事業所各協力会社を含めた組織横断的な委員会を設置し、推進体制の継続。 2. 管理マニュアルの作成、研修体制の整備。 ・設備保全社員の省エネ関連研修の参加、機械メーカー主催の研修参加。 3. 主要設備等の管理標準に準じ、冷凍庫設定温度変更実施。(不要冷却の抑制)
	第3年度	1. 主要設備等の管理標準に準じ、スケジュール冷却運転実施。(不要冷却の抑制) 総括：計画項目の「推進体制整備/管理マニュアルの作成・研修体制の整備/主要設備等の管理標準の定期見直し改善」について全て実施完了した。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1. グリーン購入の徹底。 2. 廃棄物の減容化、リサイクル化の更なる推進。
第1年度	1. OA用紙をはじめグリーン購入の推進を行った。 2. 回収業者を選定し、分別化の拡大を行いリサイクル品目を増加させた。
第2年度	1. グリーン購入実績100%達成 2. 廃棄物処理においてゼロエミッション達成
第3年度	1. グリーン購入実績100%達成 2. 回収業者を選定し、分別化の拡大を行いリサイクル品目を増加させた。(蛍光灯の処分委託契約)

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	2,974	t-CO ₂
(調)	2,924	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東扇島物流センター	川崎区東扇島6-15	4721	低温物流事業	2,974 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--